

2011年度・広大マスタース市民講座報告

「旅のフランス語」

原野 昇

駅でトイレはどこにあるのかを尋ねたり、カフェでの注文、レストランでのボーイさんとのやりとり、買い物など、旅行中のいくつかの場面を想定した自作のテキストを用意し、またビデオ教材やCDも使用しただけでなく、童謡をはじめ「バラ色の人生」「愛の賛歌」などのシャンソンもまじえて毎回の講座に変化をつけたので、受講生はみな時間が経つのも忘れておおいに楽しまれた様子であった。

最終回に生涯学習課の方が実施されたアンケートによると、シャンソンを学べたのが良かったという感想が非常に多かった。反対に、会場に対する不満が多かったが、それは駐車場が少ない、というのが主な原因のようである。今後の会場設定に際し参考にする必要がある。

